

応用気象シンポジウム2017

主催： 国立大学法人 岐阜大学工学部附属応用気象研究センター
後援： 気象ビジネス推進コンソーシアム, 岐阜市, 岐阜商工会議所

基調講演



「(一財)日本気象協会における
気象情報ビジネスと今後の展望」

平松信昭氏・(一財)日本気象協会



「ICTベンダから見た気象情報の可能性
～気象庁システム構築経験から～」

菅波 潤氏・富士通(株)

特別講演

「機械学習を応用した気象予測と
太陽光発電所の劣化診断」

教授・吉田弘樹氏・岐阜大学

「雷放電3DマッピングシステムFALMA
の開発とそれによる観測事例」

教授・王道洪氏・岐阜大学

「気候変動予測情報を活用した影響評価
と適応策の社会実装に向けた取り組み」

准教授・原田守啓氏・岐阜大学

国立大学法人岐阜大学工学部は平成29年4月に応用気象研究センターを発足しました
高度化する気象情報を様々な産業にどう応用していけばいいのか一緒に議論しましょう



日時

平成29年 **12月4日(月)**
13:30～17:00(受付13:00～)

会場

岐阜大学サテライトキャンパス多目的講義室
岐阜市吉野町6丁目31番地岐阜スカイウイング37 東棟4F

申込方法

住所, 氏名, E-mailアドレス, 電話番号, 会社名等を明記の上
ホームページ: <http://kokucheese.com/event/index/496297/>
E-mail: amet@gifu-u.ac.jp
のどちらかでお申し込みください。

定員

120名(先着順)

入場無料
(事前申込み制)

